

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

48号
2021
4.9

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



春の開園時間延長中！ 5月16日(日)まで
開園時間を18:30まで延長します！（入園は18:00まで）

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！ 見頃の植物情報を中心につぶやいています。

第29回 球根ペゴニア展

○期間：3月27日(土)～4月11日(日)
○場所：観覧温室(ジャングル室)
○内容：球根ペゴニア約300鉢を展示

第1回 ハス講習会

○日時：4月10日(土) 13:30～15:00 (受付13:00～)
○場所：植物園会館2階研修室 ※定員：先着60名
○内容：「大賀一郎博士と蓮～孫文蓮から～」
○講師：金子明雄氏(京都花蓮研究会副会長、元園長)

東洋蘭講演相談会

○日時：4月11日(日) 13:30～15:30 (受付13:00～)
○場所：植物園会館2階多目的室 ※定員：先着60名
○内容：寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

第16回 桜散歩

○日時：4月16日(金)、17日(土) 13:00～
4月18日(日) 15:30～
○場所：植物園会館前集合 ※定員：先着30名
○内容：園内のサクラを職員が案内 ※1時間程度

第9回 サトザクラ展

○期間：4月16日(金)～4月18日(日)
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：園内にあるサトザクラを中心とした切り枝を展示

◆4/18(日)サトザクラ展関連 講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00 (受付13:00～)
「浮世絵に見る江戸の花見(仮)」※定員：先着60名
講師：佐藤知乃博士 亜細亜大学准教授

バラ栽培講習会

○4月17日(土) 13:00～15:00 (受付12:30～)
「春バラの手入れ」植物園会館2階研修室
※講師：日本ばら会京都部会会員
※参加費：200円(別途入園料が必要)
※定員：先着60名

私の好きな木20周年記念展

○期間：4月23日(金)～4月25日(日)
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：私の好きな木20周年を記念してこれまでの取り組みなどを総括した展示

◆4/25(日)私の好きな木20周年記念展 関連講演会
植物園会館2階多目的室 13:30～15:00 (受付13:00～)
松谷名誉園長による講義(予定)※定員：先着60名

第29回 フクシア展

○期間：4月23日(金)～5月9日(日)
○場所：観覧温室(ジャングル室)
○内容：フクシア約150品種200鉢を展示

◆4/25(日)フクシア展 関連講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00 (受付13:00～)
「フクシアってどんな植物」※定員：先着60名
講師：戸部博氏(府立植物園園長)

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

- ～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～
- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
 - ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
 - ③ ガイドは1時間程度。(無料)
- * 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！
「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！



⑫ ジャボチカバ

フトモモ科。ブラジルやアルゼンチンなどに分布。白い花やその後に来る濃い紫色の果実が直接幹に付くことが大きな特徴。果実は直径2~3cmほどの大きさをブドウの巨峰にそっくり。味もブドウに似ていて果肉は甘酸っぱく軟らかい。

⑪ オドリコソウ

シソ科。北海道から九州などに分布。漢字では「踊子草」と書き、花が輪生したようすが、笠をかぶって踊る踊子に似ていることが和名の由来。花の色は白から赤みの強いものまでいろいろあり、春の野原を白やピンク色に彩る。

⑩ メディニラ・マグニフィカ

ノボタン科。フィリピン原産。茎の先端やその付近の葉腋から長い花茎を下げ、長さ10cmほどの淡紅色の美しい苞をつける。その先にコーラルピンクの小花を多数つけ、長期間咲き続ける。別名はオオバヤドリノボタン(大葉宿野牡丹)。

⑨ ルリカラクサ(ネモフィラ)

ムラサキ科。北アメリカ原産。属名のネモフィラと呼ばれることも多い。ネモフィラはギリシャ語で「森を愛する」の意味で森の茂みの中の明るい日だまりに自生していることに由来する。英名では「ベイビー・ブルー・アイズ」と呼ばれている。

① ベニバナトキワマンサク

マンサク科。中国原産。日本では限られた地域で自生が確認されているトキワマンサクの変種。花は枝先に4~8個集まって咲き、満開になると株全体が紅色で覆われ、白花のトキワマンサクに比べると華やかで非常に目立っている。

② ショカツサイ

アブラナ科。中国原産。三国志で有名な諸葛亮孔明(しょかつりょうこうめい)が兵士の食料とするため本種を栽培し、広めたことが名前の由来とされる。花の色などから「ムラサキハナナ」の別名でも知られている。繁殖力が非常に強い。

③ ナルキッスス・ブルボコディウム

ヒガンバナ科。フランス南西部、ポルトガル、スペインなどに分布。小型原種スイセンの代表的な種類。早春に花冠の広がった黄色いペチコートのような花が1茎に1花咲く。その外観から「ペチコートスイセン」とも呼ばれている。

④ アケビ(花)

アケビ科。本州から九州などに分布。秋に楕円形の果実がつき、熟すと縦に割れて白くて甘い果肉と黒い種子をのぞかせる様子から、「開け実」の意味で名付けられた。雌雄同株であるが雌雄異花で花色は淡紫色。

⑤ クリスマスローズ

キンポウゲ科。地中海沿岸に分布。欧米では冬咲きのヘレボルス・ニゲルのみを「クリスマスローズ」、春咲きのオリエンタリスを「レンテンローズ」と呼ぶが、日本では全てのヘレボルス属と園芸品種を総称して「クリスマスローズ」と呼んでいる。

⑥ ハナズオウ

マメ科。中国、朝鮮に分布。花の色が、スオウの木から採った染料に似ていることからその名が付いた。葉より先に小さな花を枝一面に密集して咲かせ、花が終わったあとにハート型のかわいらしい葉が芽吹く。



写真はコチラ!

観覧温室



⑧ ルピナス

マメ科。北アメリカ原産。ルピナスの名はオオカミに由来し、吸肥力が非常に強い特徴を貪欲な狼にたとえたものである。また、チョウに似た小花が咲き上がる様子がフジを逆さまにしたようで、和名で「ノボリフジ(昇り藤)」とも呼ばれる。

⑦ ムユウジュ

マメ科。インドから東南アジアにかけて広く分布。仏教三霊樹の一つで、釈迦が生まれた所にあった木とされる。インドでは乙女の恋心をかなえる木、また、出産、誕生・結婚にかかわる「幸福の木」として愛好されている。